

「全鍍連」 2020年 12月号 いきいき地域

千野 繁 (東武トップツアーズ(株) 甲府支店)

「思いがけない山梨 ～自然と共に～」

今回は、山梨組合で旅行など多岐にわたりお世話になっており、また友人でもある方に山梨の魅力を発信していただくと思います。(山梨県鍍金工業組合 理事長 佐野晶仁)

人間社会を構成するそれぞれが個性を持っている。それを認めあい、連携しあう事で社会が成り立っている。個性のおかげで世の中が面白くもなり、面倒くさくなる面もある。個性とはそのようなものだと考えている。

自然界に目を向けてみると生き物(昆虫、野鳥など)は、個性豊かな種類が多くいる。これらは、都会でも田舎でも視界を広げてみると身近にいることに気が付くことだろう。

山梨は自然豊かな地域のひとつだ。自然景観を見ても唯一無二の富士山、荒々しい姿の八ヶ岳、県の西側に壁のように立ちふさがる南アルプス。ブドウ畑や桃畑が広がる甲府盆地東部地域。日本三大急流の富士川(笛吹川と合流するまでは釜無川)。県内の山地の至る所にある渓谷。その渓谷のひとつに昇仙峡がある。県内でも有数の観光地であり、今年、日本遺産に指定された。自然と信仰や人間の営みが評価されての事だ。

岩肌にへばりつくように生育した木々や足元を流れる荒川の清流は見る人の目を引く。この観光地にも個性豊かな生き物たちの生息地となっている。溪流沿いの林を好む青い光沢が美しいオオルリ、明るい林を好み黒と黄色のコントラストが鮮やかなキビタキ、黒い背中に黄色いくちばしが特徴のクロツグミといった南の国から渡って来る渡り鳥たちだ。これらは、木々が芽吹き、いわゆる萌黄色になってきた4月中旬頃にやって来る。この鳥たちを見つけることも目的のひとつであることは間違いないが、爽やかな気候の中、溪流を歩くのは大変気持ち良いものだ。長潭橋(ながとろばし)から昇仙峡の中心となる仙娥滝(せんがたき)まで約5kmの遊歩道がある。

これからの季節は紅葉と溪流の織りなす景色が楽しめる季節となる。心を開放しに山梨を訪れてみませんか。

